

令和7年度第2回加東市児童館運営委員会次第

日時：令和8年2月12日(木) 午後2時00分から

場所：社児童館「やしろこどものいえ」 多目的室

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
- (2) 令和7年度の加東市児童館の運営及び事業の中間報告について
- (3) 加東市児童館の運営に関する評価について

3. 閉 会

(趣旨)

第1条 この規則は、加東市児童館条例(平成18年加東市条例第113号)第8条に規定する児童館運営委員会(以下「委員会」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 加東市児童館の運営に関し必要な事項
- (2) 加東市児童館の事業に関し必要な事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、加東市児童館に関連する主要な事項

2 委員会は、前項各号に規定する事項に関し、必要に応じて市長に意見を述べることができる。

(委員)

第3条 市長が委嘱する委員は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 識見を有する者
- (2) 教育関係行政機関の代表者
- (3) 社会福祉関係団体の代表者
- (4) 子育て支援団体の代表者
- (5) 加東市児童館の利用者
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

2 委員会の議長は、委員長がこれに当たる。

3 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

(意見の聴取)

第6条 委員長は、必要があると認めるときは、委員でない者の出席を求め、その説明又は意見を聴き、必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局こども未来部こども教育課において処理する。

(平30規則11・一部改正)

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(招集の特例)

2 この規則の施行の日以後初めて開かれる委員会は、第5条第1項の規定にかかわらず市長が招集する。

附 則(平成30年3月29日規則第11号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

加東市児童館運営委員会規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和7年12月8日

加東市長 岩 根 正

加東市規則第24号

加東市児童館運営委員会規則の一部を改正する規則

加東市児童館運営委員会規則（平成22年加東市規則第4号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前の欄に掲げる規定の下線を付した部分で、改正後の欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削る。

改 正 前	改 正 後
(所掌事務) 第2条 委員会は、 <u>市長の諮問に応じて</u> 、次に掲げる事項を調査審議する。 (1)～(3) [略] 2 [略]	(所掌事務) 第2条 委員会は、次に掲げる事項を調査審議する。 (1)～(3) [略] 2 [略]

備考 表中の〔 〕の記載は注記である。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

- ④ 個人情報の取扱とプライバシーの保護に関すること。
- ⑤ 保護者、地域住民への誠意ある対応と信頼関係の構築に関すること。
- (3) こどもに直接関わる大人として身だしなみに留意すること。
- (4) 明文化された児童館職員の倫理規範を持ち、利用者に公開すること。

5 児童館職員の研修

- (1) 児童館の職員は、積極的に資質の向上に努めることが必要である。
- (2) 児童館の運営主体は、様々な機会を活用して研修を実施し、職員の資質向上に努めなければならない。また、職員によるこどもの権利に関する学習の機会を保障することに努める。
- (3) 市町村及び都道府県は、児童館の適切な運営を支えるよう研修等の機会を設け、館長、児童厚生員等の経験やこどもの意見、ニーズに応じた研修内容にも配慮すること。
- (4) 研修が日常活動に生かされるように、職員全員がこどもの理解と課題を共有し対応を協議する機会を設けること。

第6章 児童館の運営

本章では、「児童館の設置運営について」（平成2年8月7日厚生省発児第123号厚生事務次官通知。以下、「設置運営要綱」という。）等に基づいて、児童館の設備と運営主体・運営管理のあり方について記述している。

児童館を管理監督する自治体は、本ガイドラインの全体を理解した上で、児童館の運営主体や児童館職員に対して、児童館ガイドラインの普及啓発や研修に努めること。また、児童館の運営主体は、本ガイドラインの全体を理解して、適正な運営に努めることが求められる。

1 設備

児童館活動を実施するために、以下の設備・備品を備えること。

- (1) 集会室、遊戯室、図書室、相談室、創作活動室、便所、事務執行に必要な設備のほか、必要に応じて、以下の設備・備品を備えること。
 - ① 静養室及び放課後児童クラブ室等
 - ② 中・高校生世代の文化活動、芸術活動等に必要スペースと備品等
 - ③ こどもの年齢や発達段階に応じた活動に必要な遊具や備品等
- (2) 乳幼児や障害のあるこどもの利用に当たって、安全を確保するとともに利用しやすい環境に十分配慮し、必要に応じ施設の改善や必要な備品等を整備すること。

2 運営主体

- (1) 児童館の運営については、こどもの福祉や地域の実情を十分に理解し、安定した財政基盤と運営体制を有し、継続的・安定的に運営できるよう努めること。
- (2) 運営内容について、自己評価を行い、その結果を公表するよう努め、評価を行う際には、利用者や地域住民等の意見を取り入れるよう努めること。また、こどもだけで

利用できる施設である特性を鑑みて、第三者評価の受審に努め、その評価結果は公表すること。

- (3) 市町村が他の者に運営委託等を行う場合には、その運営状況等について継続的に確認・評価し、十分に注意を払うこと。

3 運営管理

(1) 開館時間

- ① 開館日・開館時間は、対象となるこどもの年齢、保護者の利用の利便性など、地域の実情に合わせて設定すること。
- ② 学校の状況や地域のニーズに合わせて柔軟に運営し、不規則な休館日や開館時間を設定しないようにすること。

(2) 利用するこどもの把握・保護者との連絡

- ① 児童館を利用するこどもについて、住所、氏名、年齢、緊急時の連絡先等を、必要に応じて登録するなどして把握に努めること。
- ② 児童館でのケガや体調不良等については、速やかに保護者へ連絡すること。

(3) 運営協議会等の設置

- ① 児童館活動の充実を図るため、こどもの他、児童委員、社会福祉協議会、児童館等を拠点とする地域組織活動等の地域組織の代表者、学識経験者、学校教職員、保護者等を構成員とする運営協議会等を設置し、その意見を聴くこと。
- ② こどもを運営協議会等の構成員にする場合には、会議時間の設定や意見発表の機会等があることを事前に知らせるなどに配慮し、こどもが参加しやすく発言しやすい環境づくりに努めること。
- ③ 運営協議会等は、年間を通して定期的に開催する他、臨時的に対応すべき事項が生じた場合は、適宜開催すること。

(4) 運営管理規程と法令遵守

- ① 事業の目的及び運営の方針、利用するこどもの把握、保護者との連絡、事故防止、非常災害対策、こどもや保護者の人権への配慮、こどもの権利擁護（事業所において児童虐待等が行われた際の対応を含む）、守秘義務、個人情報の管理等の重要事項に関する運営管理規程を定めること。
- ② 運営管理の責任者を定め、法令を遵守し職場倫理を自覚して職務に当たるよう、以下の項目について組織的に取り組むこと。
 - ア こどもや保護者の人権への配慮、一人ひとりの人格の尊重とこどもの権利擁護
 - イ 虐待等のこどもの心身に有害な影響を与える行為の禁止
 - ウ 国籍、信条又は社会的な身分による差別的取扱の禁止
 - エ 業務上知り得たこどもや家族の秘密の守秘義務の遵守
 - オ 関係法令に基づく個人情報の適切な取扱、プライバシーの保護
 - カ 保護者への誠実な対応と信頼関係の構築

令和7年度 加東市児童館事業の実施状況

つどい事業・ひろば事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				合計
社児童館 「やしろこどものいえ」	実施回数	15回	15回	14回	15回	14回	13回	20回	13回	18回				137回
	参加人数	266人	241人	411人	384人	354人	365人	440人	253人	493人				3,207人
滝野児童館 (きらら)	実施回数	12回	12回	4回	8回	15回	14回	15回	15回	14回				109回
	参加人数	267人	163人	76人	159人	345人	264人	332人	191人	436人				2,233人
東条鯉こいランド	実施回数	11回	12回	12回	12回	11回	11回	14回	12回	11回				106回
	参加人数	126人	146人	208人	140人	189人	134人	327人	171人	262人				1,703人
合 計	実施回数	38回	39回	30回	35回	40回	38回	49回	40回	43回				352回
	参加人数	659人	550人	695人	683人	888人	763人	1,099人	615人	1,191人				7,143人

【主な事業内容】

- つどい事業 かとう子育てグループ活動（年齢別親子活動 各館3グループ） ママともひろば もちもちくらぶ かとう子育てセミナー
学びのひろば 北播磨地区子育てフェスティバル
- ひろば事業 おひさまひろば 0さいじひろば おはなしひろば やしろこどものいえひろば きららひろば 鯉こいひろば
のびのび教室 えいごであそぼう教室 わくわく教室 なないろ教室 ベビーの講座
ミュージック・ケア みんなのひろば（児童館まつり・ハロウィンパーティ・マンカラ大会・コンサートなど）電車であそぼう

令和7年度 加東市児童館 自己評価(集約)

【評価】 a:できている b:できているが十分ではない c:できていない

評価項目	abc 評価	評価の根拠
<p>1 児童館の施設特性</p> <p>(1)施設の基本特性が児童館の理念と目的に基づいて設定されている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが自らの意思でひとりでも利用することができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが遊ぶことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが安心してくつろぐことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども同士にとって出会いの場になることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 年齢等の異なる子どもと一緒に過ごし、活動を共にすることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもが困ったときや悩んだときに、職員に相談できるようになっている。</p>	<p style="text-align: center;">↑</p> <p>a:100%</p> <p>※昨年度 a: 84.6 % b: 15.4 %</p>	<p>○小中学生が、友だちを誘って遊びに来たり、宿題をしたりする子どもが増えてきた。また小学生が乳幼児の親子と一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきた。</p>
<p>(2)児童館の特性である、拠点性、多機能性、地域性を発揮している。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/> 地域における子どもの居場所になっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員が日常的に子どもとかかわり、子どものあらゆる課題に直接対応し、必要に応じて関係機関に橋渡ししている。</p> <p><input type="checkbox"/> 児童館が地域の人々に見守られた安心・安全な環境となっており、そこで子どもが自ら成長していくことができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの発達に応じて、地域全体へ活動を広げている。</p> <p><input type="checkbox"/> 住民や関係機関等と連携して、地域における子どもの健全育成の環境づくりを進めている。</p>	<p style="text-align: center;">↑</p> <p>a:33.3% b:58.4% c: 8.3%</p> <p>※昨年度 a: 15.4 % b: 61.5 % c: 23.1 %</p>	<p>○地域の小中学生の待ち合わせ場所や遊び場所、居場所になってきている。</p> <p>○乳幼児を持つ保護者に、よく利用してもらえている。改修工事以降 利用が増えた。土日は、父親、祖父母と一緒に利用が多い。家族で利用も増えた。</p> <p>○気になる子どもや親からの相談などがあった時は、他機関との連携ができています。</p> <p>▲子どもだけの利用の場合、行き帰りの安全面で不安を感じる。</p>

<p>(3)子どもの権利を保障するための取り組みが徹底されている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもに影響のある事柄に関して、子どもが意見を述べ、参加できるような機会を設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども自身が子どもの権利を知る機会が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見のための具体的な取り組みを行っている。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 0%</p> <p>b: 16.7%</p> <p>c: 83.3%</p> <p>※昨年</p> <p>a: 0%</p> <p>b: 0%</p> <p>c: 100%</p>	<p>▲子ども会議のようなものを設定して、子どもの意見を吸い上げて運営に反映することはできていない。</p> <p>▲児童館としての子どもの権利擁護についてのマニュアルは作成できていない。</p>
<p>2 遊びによる子どもの育成</p> <p>(1)子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して、子どもの育成を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>職員が、子どもの発達の一般的な特徴や発達過程について、研修等を通じて学んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりの発達特性を把握し、発達の個人差を踏まえて、適切な支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>遊び及び生活の場で、その時々一人ひとりの心身の状態に気を配りながら、子どもと信頼関係を築くよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもへの対応について、職員間で個々の事例に関する検討が行われている。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 66.7%</p> <p>b: 33.3%</p> <p>c: 0%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 38.5%</p> <p>b: 61.5%</p> <p>c: 0%</p>	<p>○今年度は保健師さんに来ていただいて、研修する機会があり、とても勉強になった。</p> <p>○積極的に研修会にも参加し、児童の発達特性や支援方法について学んでいる。</p> <p>○子どもやその保護者が気軽に話(場合によっては相談)がしやすいように、来館時にはできるだけ声かけを心がけている。よく利用してくれる子どもたちは、子どもから話をしにきてくれるので、距離感は近くなっていると思う。</p> <p>▲気になる親子が他館を利用することがあるので、会議等で3館の職員間で情報共有していきたい。</p>

<p>(2)子どもが自ら遊びを作り出したり、遊びを選択したりできるようにしている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが自ら遊びを作り出せるよう、環境を整えている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが自由に遊びを選択できるようになっている。</p> <p><input type="checkbox"/>空間や図書、玩具、遊具等が子どもの発想で、自由に安全に遊べるように工夫されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが自発的・創造的に活動できるよう、職員間で対応や働きかけについて確認し合っている。</p>	<p style="text-align: center;">↑</p> <p>a: 58.3%</p> <p>b: 41.7%</p> <p>c: 0%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 46.2%</p> <p>b: 53.8%</p> <p>c: 0%</p>	<p>○子どもが自由に選択できるように努めている。ひろば活動や日常の遊びに使うものなども、数種類から選択できるように配慮している。</p> <p>▲子どもが自由に遊びを選び、広げられるよう、環境設定を工夫しているが、遊具などは十分備えられているとは言えない。新しく、清潔な物に変えていく必要がある。</p> <p>▲大きい子ども向けの遊びの充実を図る必要がある。</p>
<p>(3)子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、自発的にさまざまな活動に取り組めるように支援している。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>日常的に、乳幼児から小学生、中・高校生世代までの幅広い年齢の子どもが来館している。</p> <p><input type="checkbox"/>幅広い年齢の子どもと一緒に過ごす場があり、日常的に交流したり、一緒に遊んだりする様子が見られる。</p> <p><input type="checkbox"/>職員は、子どもがさまざまな活動に自発的に取り組めるように意識して関わっている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員は、ひとりひとりの子どもの仲間集団とのかかわりについて具体的に把握しており、それぞれの集団の成長とその中での個人の成長の過程を意識してかかわっている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもに対する個別・集団の支援について記録し、職員間で事例検討をしている。</p>	<p style="text-align: center;">↑</p> <p>a: 16.7%</p> <p>b: 75.0%</p> <p>c: 8.3%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 7.7%</p> <p>b: 76.9%</p> <p>c: 15.4%</p>	<p>○自由来館者は、家族で行動することが多いが、遊びの中で、幅広い年齢の子どもたちが交流したり、一緒に遊んだりする姿を見ることがある。そのような時は、職員が関わって一緒に遊んだり、子どもたち同士をつないだりしている時が多い。人と人、子どもと子ども、子どもと遊具などをつなぐ人の役割が大切だと感じる。</p> <p>▲よく遊びに来る小中学生の集団把握をして、職員間で共有して、見守っている。</p> <p>一緒に遊びながら話をして、職員との関係を築き把握しているところだが、時々来る子どもたちの集団に対しては、対応が難しく、職員間で状況を共有して見守っている。</p>

<p>3 子どもの居場所の提供</p> <p>(1)子どもが安全に安心して過ごせる居場所となるような環境づくりや支援を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>乳幼児から中・高校生世代までのすべての子どもが、日常的に気軽に来館できる。</p> <p><input type="checkbox"/>来館する子どもの住所、氏名、年齢、緊急時の連絡先等を、登録するなどの方法で把握に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>乳幼児や障がいのある子どもも安心して利用できる環境が整えられている。</p> <p><input type="checkbox"/>利用者がくつろいだり、待ち合わせしたり、自由に交流したりできる空間があり、使いやすい雰囲気である。</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>a: 8.3%</p> <p>b: 83.4%</p> <p>c: 8.3%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 23.1%</p> <p>b: 69.2%</p> <p>c: 7.7%</p>	<p>○今年度からどの館においても、学習室を開放したことにより、夏休み中の小・中学生の利用が増えた。</p> <p>▲高校生の利用はほとんどない。日常的に中・高校生が利用するには、閉館時間が早いので、物理的に利用するのが難しい。</p> <p>▲来館者への緊急連絡先の把握については、課題である。いつ、何が起きるかわからない状況で、現状のままでは不安である。</p>
<p>(2)中・高校生世代の利用に対する支援がある。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>中・高校生世代も利用できるよくなっている。</p> <p><input type="checkbox"/>中・高校生世代の文化活動やスポーツ活動等に必要なスペースや備品がある。</p> <p><input type="checkbox"/>中・高校生世代が自ら企画する活動がある。</p> <p><input type="checkbox"/>思春期の発達特性について、職員が理解するための取組が行われている。</p>	<p style="text-align: center;">↑</p> <p>a: 0%</p> <p>b: 8.3%</p> <p>c: 91.7%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 0%</p> <p>b: 0%</p> <p>c: 100%</p>	<p>▲社児童館では、中・高校生が利用しやすいように自習室をつくったが、中・高校生が文化活動やスポーツを楽しめるような遊具や備品がない。もっと環境を整える必要がある。</p> <p>▲高校生の利用や行事への参加を願って、高校へもお願いに行ったが、まだ実現していない。</p>

<p>4 子どもの意見の尊重</p> <p>(1)子どもの年齢及び発達に応じて、子どもの意見を尊重している。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの年齢や発達に応じて子どもの意見を尊重している。</p> <p><input type="checkbox"/>意見だけでなく、子どもの気持ちも汲み取っている。</p> <p><input type="checkbox"/>日常的に子どもの声を拾い、職員間で話し合っ、児童館の活動や運営に柔軟に取り入れている。</p> <p><input type="checkbox"/>遊びや行事・イベント等のアイデアが、子どもたちの間から活発に出されている。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 8.3%</p> <p>b:66.7%</p> <p>c:25.0%</p> <p>※昨年度</p> <p>a:15.4%</p> <p>b:53.8%</p> <p>c:30.8%</p>	<p>○遊びやイベントの企画・運営は職員主体となっている。開催後参加者にアンケートをとり、意見や希望を募っており、次回の参考に繋げている。</p> <p>来館時や遊んでいるときに子どもの気持ちを知ることもある。</p>
<p>(2)子どもの意見が運営や活動に反映されている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>意見箱や掲示板、アンケートなど、子どもの意見を汲み取る仕組みがあり、活用されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども会議、子ども企画、子ども実行委員会など、子どもが児童館の運営や活動に対して意見やアイデアを述べる機会があり、機能している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員会議や研修の場等で、子どもの意見を反映させる仕組みがある。</p> <p><input type="checkbox"/>運営や活動に子どもの意見を反映した、具体的な事例がある。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 0%</p> <p>b:25.0%</p> <p>c:75.0%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 0%</p> <p>b:15.4%</p> <p>c:84.6%</p>	<p>○教室のアンケートは年2回実施していて、子どもの意見や提案を反映させている。</p> <p>▲児童館の運営や活動についてはできていない。意見箱の設置を検討中。</p> <p>▲小学生や中学生の利用が少ないため具体的な意見を聞く機会が少ない。</p>

<p>5 配慮を必要とする子どもへの対応を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>障がいの有無に関わらず子ども同士がお互いに協力できるような活動内容や環境に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>児童館を利用する子どもの間で、いじめ等の関係が生じないように配慮している。万が一発生した場合には早期対応に努め、適切に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者に不適切な養育等が疑われる場合には、市区町村や関係機関と連携し対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>児童虐待が疑われる場合には、市町村又は児童相談所に速やかに通告し、適切に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>福祉的な課題があると判断した場合に、地域や学校等の社会資源と連携し支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>障がいのある子どもの利用に当たっては、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号)に基づき、合理的配慮に努めている。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a:33.3%</p> <p>b:58.4%</p> <p>c: 8.3%</p> <p>※昨年度</p> <p>a:23.1%</p> <p>b:53.8%</p> <p>c:23.1%</p>	<p>○配慮を要する子どもやいじめに関する対応については、職員で情報を共有し、同じ対応ができるように心がけている。関係機関と早期に連携が取れるように努めている。</p>
<p>(2)子どもの活動の様子から必要があると判断した場合には、家庭と連絡を取って支援を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもへの支援のために、必要に応じて家庭や学校等と連絡を取って支援をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達や家庭環境等の面で特に配慮が必要な子どもには、発達支援に関わる関係機関等と協力して支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>必ず記録をとり、職員間で共有を図るとともに、継続的な支援につなげている。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a:16.7%</p> <p>b:66.6%</p> <p>c:16.7%</p> <p>※昨年度</p> <p>a:15.4%</p> <p>b: 53.8%</p> <p>c:30.8%</p>	<p>▲子どもだけで来館している場合に、保護者と連絡を取りにくい状況にあるので、改善が必要である。今は、学校を通じて保護者と連絡を取っている。</p>

<p>6 子育て支援の実施</p> <p>(1)保護者の子育て支援を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>子どもとその保護者が自由に交流できる場を提供し、交流の促進に配慮している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達上の課題について、気軽に相談できるような子育て支援活動を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者が広く地域の人々との関わりをもてるような支援を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>児童虐待の予防に向けて、保護者の子育てへの不安や課題に対して継続的に支援し、必要に応じて相談機関等につないでいる。</p>	<p style="text-align: center;">↑</p> <p>a: 66.7%</p> <p>b: 33.3%</p> <p>c: 0%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 38.5%</p> <p>b: 61.5%</p> <p>c: 0%</p>	<p>○保護者がいつでも、気軽に子どもに相談できるような雰囲気づくりに努めている。適時、関係機関を紹介し、保護者の不安を解消できるよう配慮している。</p> <p>○職員への相談はもちろんだが、親子活動の時間の中にもママトークの時間を持ち、保護者同士でも気軽に悩みを相談したり、アドバイスしたりできるようにしている。</p>
<p>(2)保護者と協力して、乳幼児支援を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/>保護者と協力して、乳幼児支援を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>参加者が主体的に運営できるように支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>乳幼児と小・高校生世代等との触れ合い体験を実施している。</p>	<p style="text-align: center;">↑</p> <p>a: 16.7%</p> <p>b: 66.6%</p> <p>c: 16.7%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 7.7%</p> <p>b: 76.9%</p> <p>c: 15.4%</p>	<p>○乳幼児に向けた講座は充実してきた。</p> <p>○当番活動が負担にならないように内容や準備など相談に乗りながら、保護者と協力して進めている。</p> <p>▲保護者には、受け身ではなく、主体性をもって活動できるように促す。</p> <p>▲乳幼児と小・中・高校生との交流は、小中一貫校になっていっているのので、どのようにしていくか検討していく必要がある。</p>

<p>7 地域の健全育成の環境づくり (1)地域の健全育成の環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/> 児童館を利用する子どもが地域住民と直接交流できる機会を設けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 児童館を出て、地域の児童遊園や公園、子どもが利用できる他の施設等で事業を実施することがある。</p> <p><input type="checkbox"/> 児童館の子どもを連れて地域のイベントに参加することがある。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の子どもの育成活動に協力している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域住民や NPO、関係機関等と連携して活動している。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 0%</p> <p>b: 41.7%</p> <p>c: 58.3%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 0%</p> <p>b: 15.4%</p> <p>c: 84.6%</p>	<p>○児童館まつりやマンカラ大会の際には地域のボランティアの方に来ていただいているので、子どもたちと交流のよい機会になっている。</p> <p>○滝野児童館の将棋教室、社児童館のしめ縄作りなど、地域の方に講師をお願いして好評だったので、来年度も来ていただく予定にしている。</p> <p>○飛び出せ児童館事業で、社学園に読み聞かせに行ったり、こども園にふれあい遊び、制作、ミュージック・ケアを提供するために出向いたりしている。</p> <p>▲2・3 歳児の親子活動登録者が減ってきたため、地域のイベントへの参加が難しくなった。</p>
<p>8 ボランティア等の育成と活動支援 (1)子どもを含めたボランティアの育成と活動支援を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの遊びの延長に、お手伝いやボランティア活動を取り入れ、児童館ボランティアとして育成している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもボランティアの活動支援を健全育成活動の一環と捉えて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 乳幼児の保護者の主体的な活動を支援しつつ、ボランティアとして育成している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域住民を受け入れ、ボランティアとして育成している。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 0%</p> <p>b: 41.7%</p> <p>c: 58.3%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 0%</p> <p>b: 23.1%</p> <p>c: 76.9%</p>	<p>○長年、うれしの生涯大学、更生保護女性会、民生委員など、地域住民の方にボランティアとして児童館事業に協力していただいている。</p> <p>▲子どもボランティア育成にまでは及んでいない。</p>

<p>9 子どもの安全対策・衛生管理</p> <p>(1)子どもの安全対策・衛生管理を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p>□子どもに施設・遊具の適切な利用方法を伝え、安全に遊べるようにしている。</p> <p>□子どものケガや病気の応急処置の方法について、研修や訓練に参加している。</p> <p>□事故やケガの発生時には、直ちに保護者への報告を行うとともに、事故報告書を作成し、市町村に報告している。</p> <p>□飲食を伴う活動を実施するときは、提供する内容について、事前に保護者に具体的に周知し、誤飲事故や食物アレルギーの発生予防に努めている。</p> <p>□来館時の手洗いの励行、採光・換気等保健衛生に十分に配慮し、子どもの健康に配慮している。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 33.3%</p> <p>b: 58.4%</p> <p>c: 8.3%</p> <p>※昨年度</p> <p>a:15.4%</p> <p>b:69.2%</p> <p>c:15.4%</p>	<p>○月に1回、定期的に安全点検を実施している。掃除や片付けの時にも、危ない個所や玩具はないか確認している。修理できる場所はその場ですぐに対応している。</p> <p>○危険な遊びをしている子にはその場で伝えるようにしている。</p> <p>○今年度は、ファミリーサポートセンターと連携し、児童館で救命救急講習を実施することができた。毎年、研修に参加していきたい。</p>
<p>10 学校・地域との連携</p> <p>(1)学校・地域との連携を行っている。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p>□児童館の活動と学校の行事等について情報交換を行っている。</p> <p>□児童館や学校での子どもの様子等について情報交換を行っている。</p> <p>□災害や事故・事件等が発生した場合には学校と速やかに連絡を取り合える体制を整えている。</p> <p>□児童館の運営や活動の状況等について地域住民等に積極的に情報提供を行い、信頼関係を築くよう努めている。</p> <p>□地域住民等が児童館を活用できるように働きかけるなど、地域の人材・組織等との連携・協力関係を築くよう努めている。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 0%</p> <p>b: 58.3%</p> <p>c: 41.7%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 0%</p> <p>b:15.4%</p> <p>c:84.6%</p>	<p>○市内の学校の行事予定表をもらうことができたため、できるだけ行事が重ならないように計画できた。</p> <p>○今年度から市内の小・中学校に児童館だよりを配信してもらえるようになった。市内全てのこども園等にも配布できるようになったことが嬉しい。</p> <p>▲児童館の運営について、こども園・保育所、小・中・高等学校へ向けて、児童館だよりやホームページ、Instagramなどを通じて情報発信をしているが、まだ十分とは言えない。発信方法を工夫していく必要がある。</p> <p>▲学校等の情報はわからないことが多い。</p> <p>▲児童・生徒の情報交換、学習上での連携などにおいては、これからさらに進めていきたい。</p>

<p>(2)運営委員会が設置され、機能している。</p> <p>【評価の着眼点】</p> <p>□児童委員、社会福祉協議会、母親クラブ等の地域組織の代表者の他、学識経験者、学校教職員、子ども、保護者等を構成員とする運営委員会等が設置されている。</p> <p>□子どもを運営委員会等の構成員にする場合には、会議時間の設定や意見発表の機会等があることを事前に知らせ、子どもが参加しやすく発言しやすい環境づくりに努めている。</p> <p>□運営委員会等は、年間を通して定期的に開催し、臨時的に対応すべき事項が生じた場合は、適宜開催している。</p>	<p style="text-align: center;"></p> <p>a: 25.0%</p> <p>b: 66.7%</p> <p>c: 8.3%</p> <p>※昨年度</p> <p>a: 7.7%</p> <p>b: 53.8%</p> <p>c: 38.5%</p>	<p>○運営委員のみなさんに児童館運営についてのご意見やご助言をいただくことによって、改善に向けた取り組みを行うことができている。</p>
<p>11 今年度の自分自身の取り組みについて(中間評価)</p> <p>【館務分掌について】</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>【勤務する児童館の課題と課題解決のための取り組みについて】</p>		<p>【進捗状況・軌道修正・今後の課題】</p> <p>【進捗状況・軌道修正・今後の課題】</p>

令和7年度 加東市児童館 関係者評価(集約)

【評価】 a:できている b:できているが十分ではない c:できていない

1 児童館運営の基本方針と組織

評 価 項 目	
(1)理念、基本方針が明文化され、周知されている。	評 価
	a:3 b:2
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○加東市児童館運営方針が提示されており、児童館運営に関する目標が明確に示されている。</p> <p>○改正された児童館ガイドラインに沿った運営方針になっていてよい。</p> <p>○4月に改正したガイドラインにおいて、「18歳未満のすべての子どもを対象」とすることが明記され、「児童館の特性」を3観点からおさえられていることは評価に値する。</p>	
(2)中・長期的なビジョンと計画が明確にされ、事業計画が適切に策定されている。	評 価
	a:5
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○法改正に伴い、児童館のガイドラインも内容が反映された形で改正されている。</p> <p>○児童館の現状に合わせた新たな事業も展開されていてよい。</p> <p>▲地域の小学生についても、居場所として機能するためには課題が多いと思われるが、試行錯誤を重ねてほしい。</p>	

〈参考〉児童館ガイドライン(令和7年4月1日改正)より

① 理念

児童館は、児童の権利に関する条約(平成6年条約第2号)に掲げられた精神及び児童福祉法(昭和22年法律第164号)並びに子ども基本法(令和4年法律第77号)の理念にのっとり、子どもの心身の健全な成長、発達及びその自立が図られることを地域社会の中で具現化する児童福祉施設である。ゆえに児童館はその運営理念を踏まえて、国及び地方公共団体や保護者をはじめとする地域の人々とともに、年齢や発達の程度に応じた、子どもの意見を尊重し、その最善の利益が優先して考慮されるよう子どもの育成に努めなければならない。

② 目的

児童館は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目的とする施設である。

③ 施設特性

- 児童館は、子どもが、その置かれている環境や状況にかかわらず、自由に来館して過ごすことができる児童福祉施設である。
- 子どもにとって、遊びは生活の中の大きな部分を占め、遊び自体の中に子どもの発達を増進する重要な要素が含まれている。
- 児童館の特性には、①拠点性、②多機能性、③地域性がある。

④ 社会的責任 子どもの権利擁護／活動内容についての説明責任／プライバシーの保護や秘密保持／苦情対応 等

2 児童館運営と管理

評 価 項 目	
(1)管理者の責任が明確にされ、質の向上に意欲をもち、その取り組みに指導力を発揮している。	評 価 a:5
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○児童館運営委員会に出席していても強く感じることだが、児童館運営に関して、管理者側の前向きな姿勢が随所に見られ、館長のリーダーシップのもと、児童館運営がレベルアップしている感じを受ける。</p> <p>○館長のリーダーシップにより、3館が連携・分業しながら運営されている。</p>	
(2) 緊急時の対応など、利用者の安全確保のための体制が整備されている。	評 価 a:4 未評価1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○指導員の研修(安全面など)について行われていると思うが、十分に認識できていないので、またご教示をお願いします。</p> <p>➡(回答)月に1回程度、3市1町の持ち回りで北播磨子育て支援員の研修会を行っている。医師や臨床心理士、子育て支援者、あそびうた作家など多様な講師を招聘し、職員の知識・技術の向上に努めている。その他にも、ファミリーサポートセンター主催の救命救急講習などの研修への参加や他市の児童館の視察を行い、児童館運営に生かしている。</p>	
(3) 地域や関係機関との連携が適切に確保されている。	評 価 a:4 未評価1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○近隣の学校や自治会と情報共有したり、チラシ配布の依頼をしたりしていることを確認できた。今後も一層の連携を期待する。</p>	

3 適切な子育て支援活動の実施

評 価 項 目	
(1)利用者を尊重したサービス提供に務め、利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	評 価 a:4 未評価1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○つどい活動やひろば活動等、利用される方に寄り添った内容の活動が定期的に行われている。</p> <p>○窓口で個別に対応していると(思われる)同時に、運営会議に参加している利用者・サークル代表から遠慮のない意見聴取ができています。</p>	
(2)利用者に対するサービス実施計画が策定され、定期的に評価・見直しを行っている。	評 価 a:4 b:1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○今年から児童館の運営に関する評価が行われるようになり、第三者評価も始まった。よって、児童館の運営を定期的に見直す機会も増え、よりサービスが向上すると考える。</p> <p>○どの教室やひろばでも、利用者に定期的にアンケートを実施し、利用者の声を聞き、今後役に立ていると思う。</p> <p>○私の認識不足であるが、定期的な見直しの状況がよくわかる資料及び説明があれば有難い。</p> <p>➡(回答)各教室・講座・各行事などの実施後には、参加者にアンケートを実施し、反省会をもって</p>	

いる。良かった点、改善点を明確にし、記録に残すことによって次につなげている。また、9月に自己評価を行い、児童館運営、自分自身の取り組みの軌道修正を行っている。年度末に1年の取り組みの成果と課題を明らかにし、次年度につなげている。※資料については、資料③参照

4 児童館の活動に関する事項

評 価 項 目	
(1) 利用者が自発的かつ創造的に活動できるように、環境を整備している。	評 価 a:4 未評価1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○図工のような創作活動や食育講座のようなものも開催されているようで、参加者が楽しく創造的に活動できる工夫が見られる。</p> <p>○プログラムを提供するだけでなく、サークルづくり並びに活動支援を積極的にしていることは評価に値する。</p>	
(2) 乳幼児活動が年間を通じて実施されており、その内容が参加者のニーズに基づいたものになっている。	評 価 a:4 未評価1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○リピーターに加えて、新規の参加者が一定数いることから、ニーズには十分対応できていると考える。</p>	
(3) 職員は、個々の児童・生徒の状態や心理を考慮して、適切に支援している。	評 価 a:5
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○市内学校でも小中学生が児童館を利用しており、必要に応じて児童館より情報提供をしてもらっている。また、必要な場合は保護者対応もしてもらい、大いに助かっている。</p> <p>○会議において、少し課題のある小学生についての対応を聞き、丁寧なやりとりをしてくれていることが理解できる。</p>	
(4) 中学生・高校生の居場所となるような環境を準備したり、活動内容を工夫したりしている。	評 価 a:1 b:4
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○長期休暇の自習室の開放など、遊ぶだけでなく、勉強するための空間があることがいいと思った。</p> <p>○中・高校生の利用という点では不十分かもしれないが、ボランティア的な関わりがいくつかあるとの報告を聞いている。一層の展開・拡充を期待する。</p> <p>▲クラフトバンドや縄文土器など、内容の工夫はよかったが、中高生の居場所づくりとなるとまだ弱いので、改善が必要。</p> <p>▲中高生の利用については、幼少期や学童期に利用した経験の有無によるところが多いと感じる。幼少期・学童期の利用経験のない中高生にも、児童館を認知してもらえるような取り組みをより工夫して実施するほうが良いと考える。</p> <p>▲高校生になると居場所の幅が広がるため、その一つとして児童館が含まれるようになると良いと思う。</p>	

(5)利用者からの相談への対応が、自然な形で行われている。	評 価
	a:4 b:1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○久しぶりに利用しても、久しぶりな感じがなく、ごく自然に話を聞いてくださるのが嬉しい。</p> <p>○窓口での柔らかな、そして丁寧なやりとりを3館の全てで目に見ている。プログラムも大切だが、最終的には「人」ゆえ、この姿勢を維持してほしい。</p>	
(6)住民による子育て支援活動や健全育成活動を促進している。	評 価
	a:2 b:2
	未評価1
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○子育て世代の交流の場となるような事業が行なわれていることがよい。</p> <p>▲一般住民を巻き込むとなるとまだ弱いと思われる。更生保護女性会のような母体づくりから取り組む必要がある。</p> <p>▲上記(1)にも関連するが、今後もサークル活動が活発化するよう取り組んでほしい。</p>	
(7)児童館の活動内容をわかりやすく知らせ、利用促進につながるように、創意ある広報活動が行われている。	評 価
	a:5
<p>よいと思う点・改善が必要な点</p> <p>○SNS の発信やこども園で児童館だよりがもらえ、身近なところで情報を見られるようになったと思う。</p> <p>○児童館だよりの各施設配布・配信・インスタの配信など、十分な広報活動が行われていてよい。</p> <p>○広報かとうに「児童館にあそびにいこう！」の頁が毎月掲載されており、市内の全戸に向け、幅広く広報活動がなされている。</p> <p>○Instagramでの情報発信やQRコード申請の導入等が利用促進につながっていると思う。</p> <p>○チラシやパンフという従来の広報に加えて、SNS等を効果的に使った発信は素晴らしい。</p>	